

事業の方向性 管理運営の方向性  
 コメントのまとめ 括られたカード群の事業タイトル (仮)

事業の方向性 管理運営の方向性 調査が必要な事項  
 関係する基本構想の「基本的な役割」

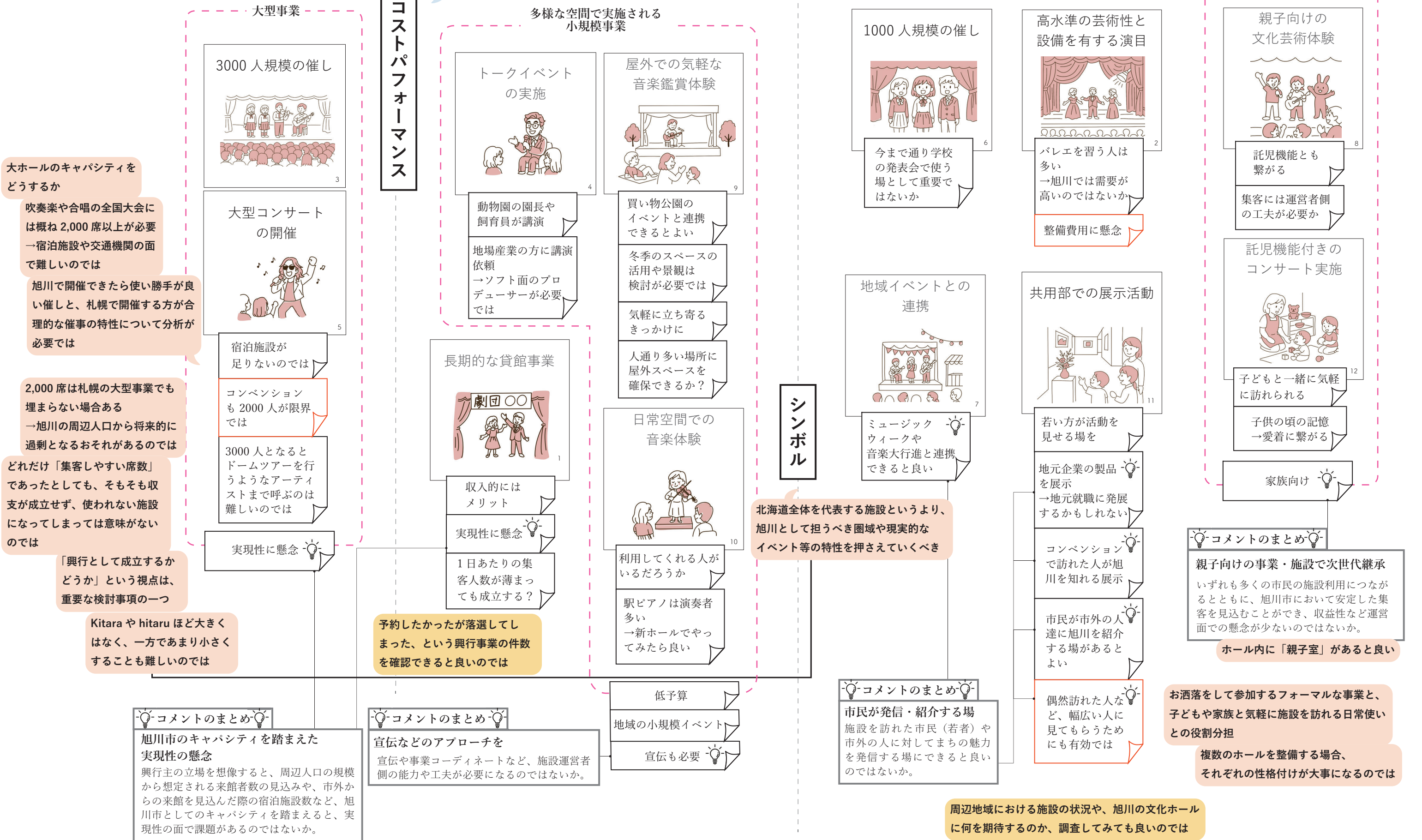
鑑賞

コストを下げれば良いという話ではなく、コストに対してどれだけ事業開催や施設収入といったパフォーマンスが得られるか、というバランス感が重要

使用料の設定にも関係する？  
 → PFI等の手法になると、条例の範囲内で利用頻度が高くなるよう戦略的に設定したり、得た収入を施設運営に生かすといったこと等も考えられる

総じて、現施設においてベースとなっている事業をきちんと押さえて、蔑ろにならないようにしていこうとするところが大きなポイントでは

家族単位で文化を体験する事業



事業の方向性 管理運営の方向性  
 コメントのまとめ 括られたカード群の事業タイトル (仮)

事業の方向性 管理運営の方向性 調査が必要な事項  
 関係する基本構想の「基本的な役割」

恒常的に様々な催しを開催しやすく、活動が続き、いつ訪れても見学できるようにするためには、市民が事業者かは別として、積極的に関与する組織・人材が必要になると思う

NPO 法人などの団体が、行政と市民の間に入って市民活動を支え、窓口になっていく仕組みは魅力的



早朝や夜間などの開館

利用者層が限定されるのでは

近くに学校などがあれば、勉強場所としての需要はあるかも

早朝・深夜に人通りや利用がどこまで見込めるか、実態を踏まえて検討する必要があるのでは

飲食店などが入居していれば、通勤前後の食事場所として利用されるかも

他の事業が定まった後に検討する事項

コメントのまとめ

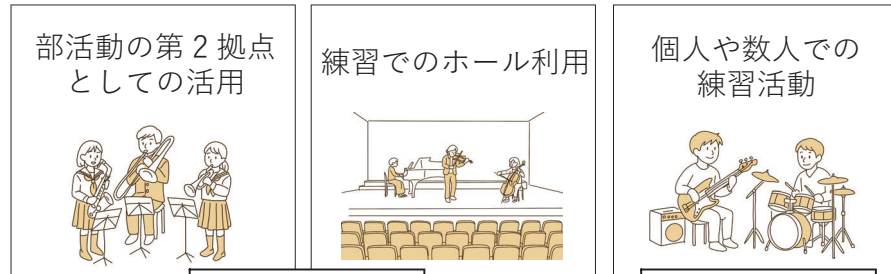
他事業を踏まえて検討する運営のあり方

具体的な施設の「運営方法」に分類される事業であり、他の事業の考え方が定まった後に、実態などを踏まえて検討し整備していくべきではないか。

多機能連携

アクセシビリティ

市民の日常的な活動での使い方・使いやすさに関する事業



学生の練習場所が不足しているのでは

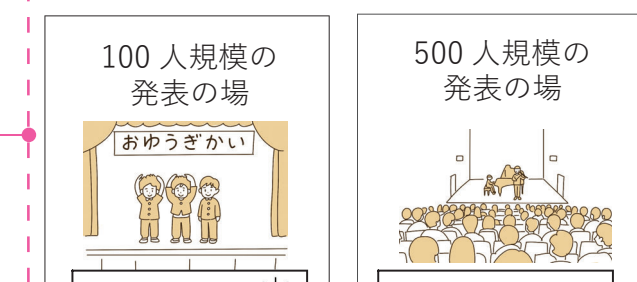
日常的な活動での使い方・使いやすさに関係

市民の使いやすさ重視

コメントのまとめ   
 発表を起点に練習や日常の活動へ少しずつ拡大  
 順序として、まず「発表の場」の機能を優先し、そちらを確保した後に、整備可能な規模・性能に合わせて事業等を検討し拡大していくべきではないか。

まちづくり

文化ホールの中核を成す「発表の場」として機能する事業



規模に選択肢が欲しい  
 音楽界では100人規模の需要が高いと感じる

1500~2000席の大ホールを整備することは大前提ではないか  
 公会堂の機能継承を考えると、500~800席のホールも必要では

利用実態から考えたとき、ステージと客席は必要か

利用実態や近隣他施設の規模など踏まえ検討が必要では

ハード整備の在り方

コメントのまとめ   
 多様な「発表」に対応するホール機能の確保  
 様々な規模感の「発表」に対応可能な選択肢を備えることが、多くの活動を生むことにつながるのではないか。

現に市民の方々がやっている活動をしっかりと支えていく場を整理しようというところを重視

ホールの席数は、現施設の稼働率に加えて、実際にどれだけ人が入っているかといった実績を基に考えるべきだと思う  
 → 例年参加している催事では、大小ホールとも毎回ほぼ満席に近い状況であり、感覚的には現施設と同程度は必要と感じる

現在の規模・機能では実施できていない事業等も合わせて考慮していく必要があるのでは  
 ホールの座席は複層式にして、1階層だけの使用も可能とするなど、様々なキャパシティに対応できると良い

次世代の担い手を育てる学び・育成に関する事業



「発表の場」や「練習の場」が見えてきてから検討するべきでは  
 施設の維持に寄与するなら意義深いのでは

学校では先生から教わることはできるが、プロと活動する機会は得にくいと思う  
 新文化ホールならではの価値につながるのでは

イベントに付随した学びや育成の事業

コメントのまとめ   
 発表・練習の場を前提とした「学び・育成」  
 「学び・育成」に関する事業であり、「発表の場」や「練習の場」についての施設規模が見えてきてから、その中での実現可能性について検討できると良いのではないか。

様々な属性の人が施設を訪れることにつながる事業



様々な属性の人が訪れることにつながる

複数の活動予定が同時に入っても使用できると良い

旭川市としての文化・芸術の発信

文化芸術の学びを深める場

コメントのまとめ   
 自由な活動・発信が多様な交流を生む  
 自由に活動・発信できる場があることで、特定の目的を持つ人だけではなく、様々な年齢・性別の人が滞在しやすくなり、「交流」にもつながるのではないか。

デザイン都市であり、ユネスコ創造都市である

文化・芸術・デザインの方向性を踏まえた施設整備ができると良い

コメントのまとめ   
 既存施設との関係を踏まえた規模設定  
 規模感については、公会堂が将来的になくなることを踏まえ、その機能を承継することや、市内他施設の規模や利用状況なども鑑みて整備していくべきではないか。

既存施設との住み分けも大事だと思うが、老朽化している近隣施設は他にもあり、それらの施設が担っている活動を継承・集約化するという視点も大事であるように思う

各分野の活動人口は徐々に減少していると想像され、多目的に使えるように整備しなければ、稼働率が低くなってしまいうのでは

活動規模に応じて部屋を分割できる構造であれば、様々なキャパシティにも対応できると思われるが、複数室で同時に音が出る活動をしようとした場合、互いの活動を阻害してしまうおそれがある

部屋の用途を「防音仕様かどうか」で分けている事例もある  
 ・防音あり：音楽、演劇、バレエ、ダンス等  
 ・防音なし：工作、絵画等  
 →「発表の場」は防音ありとして整備

防音室が何室必要か、分割可能な部屋で足りるかという部分は、現在の利用実態に加えて、新施設で同時に音が出る活動を想定するのか、という点次第では

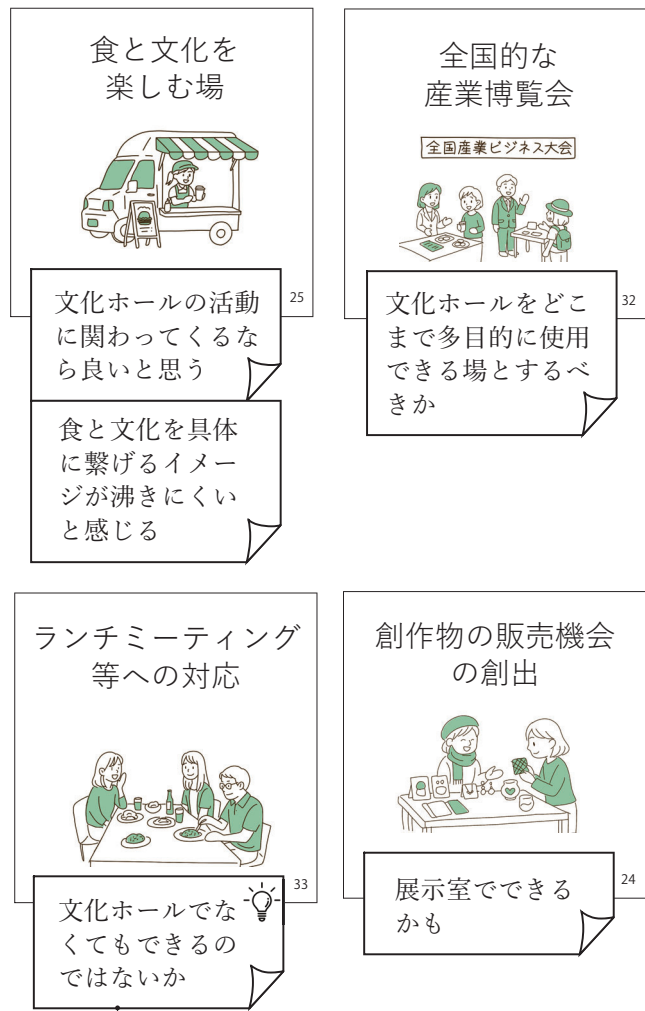
活動

事業の方向性 管理運営の方向性 調査が必要な事項

コメントのまとめ 括弧されたカード群の事業タイトル(仮) 関係する基本構想の「基本的な役割」

交流

文化活動を取り巻く関連事業



まちづくり

全てのソフトをハードと結びつけて実現しよう  
とすると、施設規模の面でも整備費の面でも限界があるので、運営としてうまくスペースを使いこなすような工夫が必要



近隣施設の連携を「線」で捉えるべきではないか

まちなか文化小屋など他施設との連携できると良い

コメントのまとめ

**新たなコミュニティの構築**  
他の施設等とも連携した事業を企画・運営するなど、「新たなコミュニティスペースを構築」し、交流の輪を生むことが、施設利用の循環につながるのではないかと。

情報の集約・発信の拠点となるのが、交流のきっかけにもなるのでは

公演のチラシを全市に共有してくれるなど、新文化ホールが市内外の文化芸術関係情報を集約・拡散するハブ機能を担えると良い

場所だけでなく、組織（文化団体協議会のような団体）も必要なのは

誰と誰の交流を想定するのか  
→文化芸術に関係する人に限らず、市外の人なども幅広く受け入れ、交流することを想定できる施設になれば、基本構想の「まちづくり」機能を果たし得ると思う

幅広い分野の文化を扱う既存事業



幅広い文化の発表の場



現時点でも行っている大切な活動

既存事業は継続的に  
行おうべきなのは

コメントのまとめ

**既存事業の継続と強化**  
多くの市民が利用する施設となるよう、現在も実施されている事業は持続的に実施しつつ、次世代のためのホールとして整備していくことが望ましいのではないかと。

市内団体等の実状を理解している市民団体と、民間事業者とが協力して運営することで、互いに補完し合えるのでは

日常利用

シンボル

日常的に訪れたい場を作ることで、市民の交流を促す事業



市民活動が大切

ホールだけでなく、展示室も絵画や普通の展示など、「発表の場」として活用されている

「発表の場」だけでなく、「練習の場」としても活用できると良いと思う



アンサンブル活動などで明るい場になると良い

高校生などが学習などに使用できる場になると良い

ホワイエなど自由に利用できるが良い

エントランスを自由に気軽に使用できるようにすると良い



次世代に活動の場を残したい

様々な芸術に触れ合える場にしたい

次世代に残せる施設にしたい

とりまとめる人材が大切なのは

文化ホールにアクセスしやすい環境を整えるべきではないか

事業実現に向けてソフト面を整えるべきではないか

民間活力の活用  
→いかに費用をかけず、質の高い事業を実施できるかが運営上のポイントなのでは

コメントのまとめ

**施設に訪れるきっかけ**  
「新文化ホールに行ったら、いつも何かが行われている」と認識される場を設けることで、市民が施設を訪れるきっかけを作らなければならない。

コメントのまとめ

**ソフト面の工夫**  
事業をコーディネートするなど、ハード整備だけでなく、ソフト面に関して施設運営者の能力や工夫が求められるのではないかと。

継続的に人が訪れる施設にするためには、施設の個性や特徴となる「何のためのホールか」というソフト面が重要では

事業の方向性 管理運営の方向性 調査が必要な事項

コメントのまとめ 括弧内はカード群の事業タイトル(仮)

関係する基本構想の「基本的な役割」

他の用事「ついで」に施設を訪れるなど、流れの中で目に入るきっかけが必要では

